

授業科目

総合演習

担当教員名 相馬 俊雄	対象学年	4	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	60

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

授業の概要

理学療法の知識に関する修得の到達度を確認する。そして、理学療法士国家試験に合格するために重点分野・苦手分野に対して補講や集中講義を実施して、理学療法士として必要な知識を修得する。

授業の目的

理学療法の対象疾患は多岐にわたり、時期は急性期から回復期、そして慢性期までを幅広く対象としている。さらに社会における理学療法の位置付けも確立された職能団体となってきている。このような中で、理学療法士が果たすべき役割、職務は、社会に重要な役割を持っている。本授業科目では、社会のニーズにこたえるべく、理学療法士に必要な専門的かつ高度な知識を習得する。

学習目標

1. 人体の構造と機能および心身の発達について説明する。
2. 疾病と障害の成り立ちおよび回復過程の促進について説明する。
3. 保健医療福祉とリハビリテーションの理念について説明する。
4. 基礎理学療法学の知識を説明する。
5. 理学療法評価学の知識と技能を関連付ける。
6. 理学療法治療学の知識と技能を関連付ける。
7. 地域理学療法学の知識を説明する。
8. 臨床で理学療法士が遭遇する事態を想定し、それを理解する知識や対処方法について説明する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考
1・2	オリエンテーション	講義：授業内容、授業評価の説明、基礎・専門知識確認
3・4	人体の構造と機能1	講義：解剖学（筋・関節・骨・靭帯などの筋骨格系）
5・6	人体の構造と機能2	講義：解剖学（一般臓器など）
7・8	人体の構造と機能3	講義：病理学
9・10	人体の構造と機能4	講義：生理学（細胞、中枢・末梢神経、内分泌など）
11・12	人体の構造と機能5	講義：生理学（呼吸、循環、代謝、消化、排泄など）
13・14	疾病と障害の成り立ち1	講義：リハビリテーション医学
15・16	疾病と障害の成り立ち2	講義：内科学、神経内科学、整形外科学など
17・18	基礎理学療法学1	講義：基礎運動学
19・20	基礎理学療法学2	講義：臨床運動学
21・22	理学療法評価学	講義：検査測定評価学（関節可動域、筋力測定、神経学的検査など）
23・24	理学療法治療学	講義：中枢神経系疾患、整形外科疾患、神経筋疾患、呼吸循環器疾患に対する治療学
25・26	地域理学療法学	講義：介護保険と法規
27・28	保健医療福祉とリハビリテーション	講義：保健福祉施設におけるリハビリテーション
29・30	国際社会とリハビリテーション	講義：国際社会とリハビリテーション

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

定期試験

履修上の留意点

各自で修得の到達度と苦手分野・重点分野を自覚し、早期から自分の目標を立てて計画的に学習し、学力の向上を目指すこと。

オフィスアワー・連絡先

【相馬】（日時）火・木の14：00～18：00、（研究室）研究棟2（E棟）E201a、（連絡先：E-mail）soma@nuhw.ac.jp